



お元気ですか！  
志村 たかよし です

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

# ヘイトスピーチを許さない！ 川崎市の市民集会に参加



「どうしてさべつするの」と書いた横断幕を持って発言する「トラジの会」=1/24付赤旗より

特定の人たちが暴力的な言葉で差別し排外するヘイトスピーチ。訪日外国人が多い銀座での行動が目立ってきています（左枠）。日本共産党は昨年2月、区に対し、ヘイトスピーチを行う団体に、集合場所である水谷橋公園（銀座）の使用を許可しないよう要請しましたが、貸してしまいました。当日（3月1日）は「\*\*\*をたたき出せ」「\*\*\*を駆除するためパトロールをしています」などの叫び声が銀座に響きました。ヘイトスピーチをやめさせるこ

銀座でもヘイトデモがひんばんに



ヘイトデモは、全体として減少傾向にありますが、銀座での行動は目立つようになりました。  
・12年…8回  
・13年…11回、  
・14年…10回  
・15年…14回  
と増えています。  
デモは、水谷橋公園を出発して外堀通りを左折し、訪日外国人が多い数寄屋橋を通りました。



上写真は銀座一丁目の交番付近、下は数寄屋橋付近。「\*\*\*を駆除する」など大音量で叫んでいました。=15年3月1日

とは全国でも大きな課題となっており、大阪市では、1月に「ヘイトスピーチ抑止条例」を成立させました。私は、他の自治体での取り組みを勉強したいと、1月23日に川崎市で行われた「川崎でのヘイトスピーチを許さない！『オールかわさき』市民集会」に参加しました。参加者は会場あふれる300人でした。

主催は「『ヘイトスピーチを許さない』かわさき市民ネットワーク」ですが、賛同は90団体にもなり、自民党以外のすべての市議会党派が参加しました。

母親が在日韓国人3世の男子中学生の発言は胸を打つものでしたので、「しんぶん赤旗」(2/1付)に紹介された記事(左)を転載しました。

東京新聞の報道(1/22付)によると中央区の企画財政課長は「大きな問題ではなく、今のところ、区独自の対策は考えていない」と語ったと言っています。「大きな問題ではない」とはビツクリです！  
中央区は、人種差別撤廃条約により人種差別を禁止し終了させる義務を負っていることを自覚すべきです。



# オモ二が泣いた 僕も泣いた

## 条例の制定求める中学生の訴え

### 市民集会

「川崎でも早く条例をつくってほしい」。  
川崎市川崎区で23日に開かれたヘイトスピーチ(差別扇動行為)の根絶をめざす市民集会で、男子中学生(13)が涙をぬぐいながら訴え、立ち見まで出た満席の会場は連帯の拍手に包まれました。訴えの要旨を紹介します。

## ともに生きる街・川崎にヘイトスピーチいらない



「ともに生きよう」との呼びかけに笑顔を見せる参加者=23日、川崎市川崎区

ヘイトスピーチは絶対に許さないで勇氣を出して話します。ほくのオモ二(母親)は在日韓国人です。父は日本人です。ほくは小さいころから、二つの文化背景があることを、家族や周りから、とっても大切にされ、育ってきました。ほくが歩いていくと、地域からかかったりすることなく育

の人は「アンニョン」とあいさつしてくれます。「オモ二はプンムルノリ(伝統の音楽・踊り)がうまくていいね」と言ってくれる友だちもたくさんいます。ほくには、日本人や、ほくと同じコリアン・ダブル、フィリピン、ベトナム、ブラジルにルーツを持つ友だちがたくさんいますが、その違いでからかわれたり、

してきました。  
だから、(昨年)11月8日にヘイトデモが桜本(同区)に来ると聞いたときは、こんないい街に何をしに来るんだと思いました。  
ほくは、デモをしてひどいことを言う人たちも、話し合えばわかり合えると思いましたが、  
ところがヘイトデモは、ほくの想像以上にひどいものでした。  
ヘラヘラと笑いながら手招きをして挑発してきました。近づこうとしたら警察に止められて「あっちへ行け」「来るな」と言われました。差別する人たちに「ダメ」と言うだけなのに、なんで止められないといけないんだーと思いました。  
隣にいるオモ二が泣いていて、自分も泣いてしまいました。

た。いつもは優しい父は、とても怒っていました。デモは桜本には来なかったけれど、とても嫌な気持ちが残りました。このヘイトデモのことは、今でも忘れられない、今までの生活の中で、いっちゃん嫌なできごとでした。ほくは、大切な家族や友人や地域の人たちを傷つけるヘイトデモが許せません！オモ二がオモ二と呼ばれ、「アンニョン」とあいさつを交わす、商店街の日本のお祭りや韓国・朝鮮のプンムルノリをするときみんなが喜んでくれる、みんながともに生きる街、川崎・桜本にヘイトスピーチなんていりません！  
大阪では、ヘイトスピーチを規制する条例ができたとき聞きました。川崎でも、早く条例をつくってほしいと思います。

ヘイトスピーチとは、おもに「差別扇動行為」のことを言います。韓国、朝鮮、中国などの特定の民族・国籍を持つ人や思想を暴力的な言葉で差別・排外する言動のことで、右翼団体「在日特権を許さない市民の会」が主にかかわっています。日本も加盟している人種差別撤廃条約や自由権規約などの国際人権条約において、人種差別の一形態として禁止・拒絶されるべき対象であることが、明確に定められています。